

一般の非行・犯罪にプッシュする主要なリスク要因(中心的8要因)

リスク要因	説明	立ち直り指導のポイント例
① 反社会的行動歴	多様な反社会的行為への早期からの継続的なかわり	危機場面で非行・犯罪によらない適切な問題解決行動の獲得・維持
② 反社会的パーソナリティパターン	刺激追求的, セルフコントロールの弱さ, 攻撃的な言動など	問題解決, 対処, 自己管理, 怒りの管理スキルの増進
③ 反社会的認知	犯罪を肯定する態度・価値観・信念, うらみや反抗的認知・情動, 不良な自己イメージ	健全なものの見方・考え方の獲得 まっとうな自己イメージの再建
④ 反社会的交友関係	非行性・犯罪性の高い者との強い関わり, 健全な人間関係からの疎外	不良交友からの離脱, 健全な生活や成長に資する人間関係の構築・発展

リスク要因	説明	立ち直り指導のポイント例
⑤ 家族・結婚生活	養育・ケア, 監督指導の不足・家庭機能不全	家庭内のトラブル・葛藤解決支援, 家族の肯定的な関わりづくり, 子供に対する関心指導の増進
⑥ 学校・就労生活	学校・職場生活に対する低い満足や成績不振	学業や仕事の実績向上支援など満足感や自己効力感を増進させる働き掛け
⑦ 余暇活動	一般的な余暇活動への低い関心や低い満足	健全な余暇活動への関与の増進, それらを通じた成長促進的生活習慣形成支援
⑧ 物質乱用	アルコール・各種薬物の乱用, 物質依存症など	治療教育の実施・継続, 物質乱用をおおる交友関係調整, 回復者による支援・自助グループ参加など

注: Bonta & Andrews (2017)に基づき作成。